

Klaviertrio-Abend mit zwei wiener Streichern

ウィーンから二人の演奏家を迎えて

華麗なるピアノトリオの世界

共演ピアニスト 石川 由梨・矢野 恵子・吉井美由紀



Yuri Ishikawa



Keiko Yano



Miyuki Yoshii

Franz
Siegert
Violin



Till
Schüßler
Violoncello



Program

ブラームス：ピアノ三重奏曲 第1番 口長調 作品8 《pf. 石川 由梨》
J. Brahms: Klaviertrio Nr.1 H-Dur Op.8

メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 作品49 《pf. 矢野 恵子》
F. Mendelssohn Bartholdy: Klaviertrio Nr.1 d-moll Op.49

ショスタコーヴィチ：ピアノ三重奏曲 第1番 ハ短調 《pf. 吉井美由紀》
D. Shostakovich: Klaviertrio Nr.1 c-moll

2025. 11月19日《水》 19:00 開演 (18:30 開場)
五反田文化センター 音楽ホール

全自由席 ¥4,500 ※未就学児の方のご入場はご遠慮ください。

【前売】チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ・ソレイユ音楽事務所「チケットの王様」 <https://www.soleilmusic.com>

主催●ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552 後援●オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京・月刊「音楽現代」



Klaviertrio-Abend mit zwei wiener Streichern

ピアニスト 3 Pianistinnen

石川 由梨 Yuri Ishikawa

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学院音楽研究科修士課程ピアノコース修了。第11回東京ピアノコンクール大学部門第1位、第25回大阪国際音楽コンクールAge-Gエスポール賞、他多数受賞。2010年より、ウィーン国立音楽大学教授アヴォ・クムジャン氏特別レッスンを受講。2017、2018年にアヴォ氏と連弾共演。しながら学びの杜専門講座「シューマンの音楽に親しむ」に出演。好評を博す。日本音楽学会第73回全国大会に於いて「シューマンの《パピヨン》の創作の原点であるワルツ集の構想：自筆譜の分析を中心に」を研究発表。現在演奏活動と共に、シューマン作品を中心に研究している。

現在、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」鎌倉・横浜教室ピアノ科講師、コンクール審査を務める。日本音楽学会、日本音楽表現学会、鎌倉音楽クラブ（鎌倉音楽家協会）会員。

矢野 恵子 Keiko Yano

国立音楽大学器楽学科ピアノ科卒業、ウィーン国立音楽大学ピアノ演奏科留學。室内楽ディプロマ取得。欧州各地マスタークラス受講。ウィーン楽友協会にてウィーン国立音楽大学教授アドリアン・コックス氏とデュオ共演。西日本工業倶楽部主催ソロリサイタル、下関市美術館招聘ソロリサイタル。新宿区、立川市主催ピアノクインテットリサイタル。仙台ラジオ3出演、同コンサート出演。他、室内楽奏者として国内外で演奏。2017年より埼玉文化振興基金助成事業にてベートーヴェン室内楽コンツェルトシリーズ開催。2023年NIONフィルハーモニー「皇帝」客演。西南女学院短期大学非常勤講師助手を経て、2017年鎌倉音楽サロン開催。鎌倉、伊クレモナ、ピアツェンツァにてセミナーや研究会、2025年冬講演会開催予定。藤原千鶴子、故菅野洋子、故三宅洋一郎、高橋倫紀、ミハエル・クリスト、ユーグ・ルクレール、ソニヤ・パフォー、アンナ・ソレントの諸氏に師事。

吉井美由紀 Miyuki Yoshii

東京藝術大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学マイスタークラス修了後、両大学に於いてそれぞれパウル・マイゼン教授のクラス等で伴奏助手を務める。現在、東京学芸大学講師。マリア・カラス国際コンクール奨励賞受賞。シューベルト国際コンクールファイナリスト。演奏活動は多岐に亘り、歌曲伴奏者、室内楽奏者として、E. ヘフリガー氏、平松英子氏、ウィーンフィル首席トランペット奏者H. ガンシュ氏、ウィーン放送交響楽団コンサートマスター F. ズィーゲルト氏、フルート奏者H. ヴィーゼ氏等と共演、またバイエルン放送局、NHK-FMに録音出演。ソロピアニストとしては、ドイツ、日本でリサイタル開催のほか、バッハの平均率クラヴィーア曲集連続演奏会を国内外で展開。また、ARTIS Piano Ensemble（8手連弾）のメンバーとして、日本、ドイツの各都市で公演。2024年にズィーゲルト氏、シュスラー氏とピアノトリオコンサートを開催。杉山千賀子、堀江孝子、室井摩耶子、クラウス・シルデの諸氏に師事。

弦楽器奏者 2 Streicher

フランツ・ズィーゲルト Franz Siegert, Violin

1981年ドレスデン生まれ。2009年よりウィーン放送交響楽団のコンサートマスターを務める。

16歳よりトロツィンゲン音楽大学の高才能クラスでルドルフ・ランブ教授に師事、その後ウィーン国立音楽大学でクリスティアン・アルテンブルガー教授に師事、2009年最高位の賞を得て卒業する。在学中からグスタフ・マーラー青少年管弦楽団のコンサートマスターを務め、2007年にはヨーロッパ文化財団賞を受賞する。またバイエルン国立歌劇場、バイエルン国立管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団（ロンドン）、ウィーン室内管弦楽団、グルベンキアン管弦楽団（リスボン）、バスク国立管弦楽団（サン・セバスチャン）のゲストコンサートマスターとして招かれる。名指揮者クラウドディオ・アバドの招待で、ボローニャのモーツァルト管弦楽団にも在籍。ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者として度々来日。2018カルクリーナ・ピアノトリオのメンバーとしてアメリカツアーを行う。2018年よりリンツのブルックナー管弦楽団のゲストコンサートマスターにも就任。

ティル・シュスラー Till Schüßler, Violoncello

シュトゥットガルトに生まれる。8歳で兄妹とのピアノトリオをはじめ、公の演奏活動を行う。

ケルン国立音楽大学にてクルト・ヘルツブルッフ、ウィーン国立音楽大学にてバレンティン・エルベンの両教授に師事。その間、アマデウス弦楽四重奏団、アルバン・ベルク弦楽四重奏団にも師事。1989年ハーグ国際音楽コンクールなど数々のコンクールで受賞。

ウィーン室内管弦楽団首席チェロ奏者を経て、現在ウィーン放送交響楽団奏者。また室内楽奏者としてもウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団奏者として度々来日する他、多種の編成でヨーロッパ、アジアの各地で活躍。

演奏の傍らウィーン・プライナー音楽院の教授を経て、夏期講習、マスタークラスなどで後進の指導に当たる。

演奏楽器：ベルナルデル

【会場へのアクセス】

五反田文化センター 音楽ホール

- JR 山手線「五反田駅」徒歩 15 分
- 東急池上線「大崎広小路駅」徒歩 10 分
- 東急目黒線「不動前駅」徒歩 7 分

右の地図の赤い線は、不動前駅からの順路です。

